
令和6年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年2月26日

質問者（質問順）

- 1 増 永 純 女 委 員 (自 民 党)
- 2 おさかべ さやか 委 員 (自 民 党)
- 3 木 内 秀 一 委 員 (公 明 党)
- 4 森 ひろたか 委 員 (立 憲 党)
- 5 いそべ 尚 哉 委 員 (維 新 会)
- 6 白 井 正 子 委 員 (共 産 党)
- 7 山 田 一 誠 委 員 (自 民 党)
- 8 深 作 祐 衣 委 員 (民 主 フ)

こ ども 青 少 年 局

局 別 審 査

1 増 永 純 女 委 員 (自 民 党)

1 妊産期からの切れ目ない支援の充実について

- (1) 出産費用助成事業の目的について伺いたい。
 - (2) 本市独自に助成を行う理由について伺いたい。
 - (3) 事業実施後の分娩取扱施設の価格改定及びサービス内容の変化に関するシミュレーションの実施について伺いたい。
 - (4) 妊婦健診を補助券方式で実施している理由について伺いたい。
 - (5) 妊婦健診の実態調査の必要性について伺いたい。
 - (6) 横浜市が「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」として、出産費用助成事業に限定せず、妊産婦健診などにも使用できるように支援の幅を広げるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 妊産期からの切れ目のない支援の充実については、引き続き、説明及び議論を重ねることを要望する。また、子育てする家族や子どもたちが横浜で過ごしたいと思ってもらえるサポート体制を多角的に検討・判断していただきたい。

2 放課後キッズクラブ等における昼食提供について

- (1) 夏休みの昼食提供に向けた準備スケジュールについて伺いたい。
 - (2) 安全に昼食を提供するための取組について伺いたい。
 - (3) クラブに対して丁寧な支援を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) モデル事業で、クラブ及び保護者からいただいた改善点を振り返り、中長期的な視点で施策に生かしていただきたい。

3 地域療育センターにおける待機児童問題について

- (1) 医師をはじめとしたスタッフの確保に対する取組について伺いたい。
- (2) 初期支援の取組の内容、意義及び今後の進め方について伺いたい。

(要望) 初期支援の取組によって、保護者の不安がどれだけ解決されたのか、解決の手法として適切かどうか、振り返り調査を行っていただきたい。

4 インクルーシブ教育実現に向けた横浜市のスタンスについて

(1) 学齢期前後における地域療育センターでの支援計画、学校現場への引継ぎ及び連携の現状について伺いたい。

(2) 切れ目ない支援を行う上での情報共有方法を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 区役所の相談支援機能の強化について

(1) 本市における統括支援員の役割について伺いたい。

(2) サポートプラン作成のための取組について伺いたい。

(3) こども家庭センターを機に地域資源の情報を組織的に集約し、共有できる仕組みをつくるべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 子育て応援サイト・アプリにおける情報発信について

(1) 区役所が持つ地域情報の発信の考え方について伺いたい。

(2) 情報発信の基準について伺いたい。

(3) 子育て応援サイト・アプリを活用して、よりエリアを絞って地域情報を発信するべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 おさかべ さやか 委員（自 民 党）

1 在宅子育て家庭の夏の過ごし方について

- (1) 在宅子育て家庭の子どもの水遊びの機会及び効果に対する認識について伺いたい。
 - (2) 子育て応援サイト・アプリにおける公園の検索項目について伺いたい。
 - (3) 今後の開発の中で公園の水遊び場など夏の遊び場情報も検索項目に加えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 水遊び場やこどもログハウス等子育て世代にとって魅力ある施設・施策の情報を余すことなく発信すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) 「子育てしたいまち推進モデル地区」において、水遊びのイベントなど魅力ある取組を推進していくため、こども青少年局としても積極的に関わるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 水遊び場は横浜市に大きく抜け落ちている部分だと考えるため、危機感を持って進めていただきたい。

2 小学生の朝の居場所づくりモデル事業について

- (1) モデル実施を進めるうえでは軽食の提供等、子どもの視点からの検討も必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 子どもにとって安全・安心な居場所となるよう取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 保育所等における性被害防止の取組について

- (1) プライベートゾーンに関する保育士向け研修の実施状況について伺いたい。
- (2) プライベートゾーンは大事であることを身近な大人が子どもに伝えていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 保育士に対して、継続的にプライベートゾーンに関する研修を実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 保育所等における障害児・医療的ケア児の受入れ推進について

- (1) 入所相談の実態に対する認識について伺いたい。
- (2) 合理的配慮の提供が事業者にも義務化されることについての保育所等への周知方法について伺いたい。
- (3) 重度の肢体不自由のあるお子さんのご相談についても、区の窓口で保護者のお話を寄り添ってお聞きし、区から園への橋渡しをすべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 養育費確保支援について

- (1) 養育費保証契約にかかる費用補助の利用が進まない理由について伺いたい。
- (2) 養育費確保支援に向けた取組の強化について伺いたい。
- (要望) 養育費の取り決めをしていないひとり親家庭に行き届く新たな支援メニューの検討を進めていただきたい。

6 24時間型緊急一時保育事業について

- (1) 実績及び課題について伺いたい。
- (2) 予算拡充の内容について伺いたい。

1 保育人材の確保について

- (1) 市の基準で配置する保育士に対する令和6年度の処遇改善の内容について伺いたい。
- (2) ローテーション保育士雇用費の具体的な拡充内容について伺いたい。
- (3) 保育士修学資金貸付事業の拡充により期待する効果について伺いたい。
- (要望) 現場で働く方々の処遇改善や業務負担の軽減の取組をしっかりと進めていただきたい。

2 保育所等における医療的ケア児の受入れ推進について

- (1) 医療的ケア児サポート保育園事業の取組を始めたことによる保護者及び保育所からの声について伺いたい。
- (2) 医療的ケア児サポート保育園への現在の支援及び令和6年度の取組について伺いたい。
- (要望) 中期計画の施策目標の達成に向けて、しっかりと取り組んでいただきたい。

3 放課後事業におけるDXの推進について

- (1) DXの推進に当たっては、手続きの負担軽減とともに、保護者の安心感につながるよう取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) クラブの事務負担軽減のためのDXの取組について伺いたい。
- (3) DXの今後の展開について伺いたい。
- (要望) 放課後事業におけるDXの取組を、時代に応じて着実に進めていただきたい。

4 こども食堂等支援事業について

- (1) 直近5年のこども食堂の箇所数の推移について伺いたい。
- (2) こども食堂の課題についての認識について伺いたい。
- (3) 課題解決のための本市としての取組について伺いたい。

5 出産・子育て応援事業について

(1) 伴走型相談支援の目的について伺いたい。

(2) 伴走型相談支援に期待する効果について伺いたい。

(意見) 伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することで、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるような支援が推進されることを期待する。

6 児童相談所の機能強化について

(1) 児童福祉法改正を受けた南部児童相談所再整備での対応について伺いたい。

(2) 一時保護所における学習支援の状況について伺いたい。

(3) 子どもの立場に寄り添って援助できる児童相談所の人材育成について伺いたい。

(意見) 環境整備などのハード面と人材育成などのソフト面の双方から、子どもの権利を守っていくために、しっかりと取り組むことを期待する。

7 ピアサポーター事業の推進について

(1) 事業創設の経緯について伺いたい。

(2) ピアサポーターの具体的な支援内容について伺いたい。

(3) 事業実施による効果について伺いたい。

(意見) より多くの困難を抱える若者がこの事業を活用できるよう、事業の今後の展開に期待する。

1 子育てDXについて

- (1) 子育て応援サイト・アプリの効果検証の想定について伺いたい。
 - (2) 妊産婦・こどもの健康医療相談のモデル事業における利用者の評価に対する受け止め及び全市展開に向けた課題について伺いたい。
 - (3) 妊産婦・こどもの健康医療相談では、子どもの発達など、よりセンシティブな相談まで幅広く対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) いわゆる市民アプリのような、区局横断的なアプリを検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 多くの市民が包括的に利用できるアプリとなるよう検討していただくとともに、費用対効果等を考慮し、将来的な展開等を見据えて検討を進めていただくことを要望する。

2 児童手当の制度拡充と寄附制度について

- (1) 寄附制度の仕組み及び実績について伺いたい。
- (2) 寄附制度の一層の周知に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 出産に係る費用への支援について

- (1) 助成額を9万円とした理由について伺いたい。
- (要望) 妊娠から産後まで安心して産み育てられる支援制度について、検討を進めることを要望する。

4 出産・子育て応援事業について

- (1) 市民にとってのギフト化のメリットについて伺いたい。
 - (2) 市内事業者への経済効果を見据えたギフトの仕組みづくりについて伺いたい。
- (要望) ギフトの選定及び考案にあたっては、バリエーションに富んだ魅力あるギフトにしていただくとともに、ギフトでの購入価格の適正化にも努めていただきたい。

5 保育所等における保護者の負担軽減について

(1) 多くの保護者に利用していただくための取組について伺いたい。

(2) 衛生面での安全性を確保するための取組について伺いたい。

(3) 保護者に向けた事業の趣旨及び内容の周知方法について伺いたい。

(要望) にもつ軽がる保育園事業は、3つの事業から成り立っており、各事業で対象施設や補助要件が異なることから、丁寧に説明を行っていただきたい。

6 小学生の子どもがいる世帯の負担軽減について

(1) 放課後事業での昼食提供に当たっては保護者が利用しやすい仕組みとすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(2) 朝の居場所づくりを実施するための活動場所及び人材確保について伺いたい。

(要望) 放課後事業での昼食提供が、地域経済活性化と子育て世代の負担軽減の双方に寄与するものになるよう、保護者のみならず、地域の仕出し弁当等の事業者に対するアンケートについても実施していただきたい。

(要望) 朝の居場所づくりは、教育委員会事務局との連携が必要となるが、教職員への負荷がかからないように、最適な人材の確保と運用を強く要望する。

7 寄り添い型生活支援事業について

(1) 寄り添い型生活支援事業における調査及び検討の狙いについて伺いたい。

(2) 子どもたちの生活・学習習慣を身に付けるためには、年齢によらない切れ目のない支援を実現すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 今回の調査を機に、支援を必要とする子どもたちへの対応が適切に進むことを期待する。

8 保育所等における個別に支援が必要な児童の受入れ推進について

(1) 各園の状況の把握や保護者の心理的な負担軽減についての検討及び取組について伺いたい。

(2) 保育士を追加配置している場合に活用できる補助について伺いたい。

(3) 特別支援の制度について保育所等に一層周知し、早期に子どもや保育所等へ

の支援をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

9 保育所等の受入れ推進について

(1) 少子化が進む中での保育所等の新規整備の考え方について伺いたい。

(2) 小規模保育事業が選択されるために課題を分析した対応をより一層進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 児童相談所の機能強化・専門性強化の取組について

- (1) 児童相談所職員の業務負担や人材育成における現状の課題及び今後の方針について伺いたい。
 - (2) 児童虐待対応における民間事業者のノウハウを活用した現状の取組及び考え方について伺いたい。
 - (3) こども分野における社会福祉の専門家の確保・育成のための現状及び今後の取組について伺いたい。
 - (4) AI文字起こしの導入状況及び次年度に向けた考え方について伺いたい。
- (意見) 児童相談所の機能強化・専門性強化の取組によって、児童虐待対策が着実に進められていくことを期待する。

2 保育士の人材確保について

- (1) 市内で働く保育士の令和5年4月時点の離職率及び課題認識について伺いたい。
 - (2) 人材確保策の効果を検証するためには、保育士への定期的なアンケートなども必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) これまでの人材確保策に対する検証をしっかりと行い、効果的な人材確保に繋げていただきたい。

3 ひとり親家庭思春期・接続期支援事業について

- (1) 事業のこれまでの実績について伺いたい。
 - (2) 令和6年度予算における事業拡充の狙いについて伺いたい。
 - (3) 事業の今後の見通しについて伺いたい。
- (意見) 思春期・接続期支援事業が量・質ともにさらに拡充され、貧困の連鎖を断ち切り、また困難な状況においても等しく教育の機会を得られるための支援につながるよう、本事業が活用され、成果があがることを期待する。

1 保育所や放課後児童クラブ・放課後キッズクラブでの災害時対応とその充実について

- (1) 市の地震防災戦略を見直すにあたり、保育所や放課後児童健全育成事業所を所管することも青少年局においても、見直しにしっかりと取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (2) 能登半島地震の発生を受けた保育・教育施設への対応について伺いたい。
 - (3) 食品備蓄にも使えるよう、施設機能強化推進費加算の対象を広げるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 認可保育所の保育士数の最低基準は日常保育を想定した配置数であり、災害避難時対応を含めたさらなる職員配置が必要と考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) 国の4・5歳児基準引き上げに伴う新年度予算の増額及びローテーション保育士雇用費の増額の内容について伺いたい。
 - (6) 義務規定となる放課後児童健全育成事業所の安全計画策定の支援内容及び策定状況について伺いたい。
 - (7) 放課後児童支援員の常勤配置を進める令和6年度予算の増額の内容について伺いたい。
 - (8) クラブ職員の安定した雇用のため処遇改善を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 備え・発災時を考慮した保育所の配置基準充実をしていただきたい。
- (意見) 本予算の増額で放課後児童支援員の常勤配置が更に進むことを期待する。

1 こどもの意見表明支援について

- (1) こどもの意見表明支援事業の進め方について伺いたい。
- (2) 改正児童福祉法の意見聴取についての取組について伺いたい。
- (3) 子どものセルフアドボカシーの一環として、全ての局区が行う子どもが関わる施策について、子どもの意見を聞く取組を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 東部児童相談所の整備について

- (1) 現在の進捗状況について伺いたい。
- (2) 実施設計が進み全体像が見える中での特徴及び期待される効果について伺いたい。
- (3) こどもファーストな面接室の整備に向けた検討状況について伺いたい。
(意見) 面接室も含めて、こどもファーストな児童相談所が整備されることを期待する。

3 児童相談所業務のD Xについて

- (1) こどもファーストを実現するための課題認識について伺いたい。
- (2) 児童相談所D X事業のこれまでの取組及び効果について伺いたい。
- (3) 深刻化している児童虐待への今後の取組について伺いたい。
(意見) A I 文字起こしシステムを活用することで、職員間での情報共有がより一層図られることを期待する。

4 妊産婦・乳幼児の災害対策について

- (1) 令和5年度の取組状況について伺いたい。
- (2) 令和6年度の取組内容について伺いたい。
- (3) 能登半島地震をふまえ、引き続き全庁的に取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 福祉避難所として、妊産婦・乳幼児が対応できる施設を全区展開し、最終的には母子避難所として発展することを期待する。

5 妊娠期からの切れ目のない支援の充実について

- (1) 妊娠・出産サポート事業の予算が減額している理由について伺いたい。
- (2) 令和6年度の産後母子ケア事業の方向性について伺いたい。
- (3) 子どもの健やかな育ちを保障するためには、出産にかかる経済的な支援との両輪で、産後の育児に対する支援についても力を入れて取り組んでいくべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 保育所等における送迎バス安全対策について

- (1) 保育所等における安全装置の設置状況について伺いたい。
- (2) 施設の安全対策が途切れることのないよう、市としても継続的に園の状況を確認し、必要に応じて指導すべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 新生児聴覚検査について

- (1) 本市の最新の受検率に関する受止めと未受検児の状況を把握していない理由について伺いたい。
- (2) 全てのこどもの確実な受検を目指すために、未受検児を把握できる仕組みへの見直しを行うとともに、支援が必要な子どもに対し、網羅的な対応・支援が可能な情報管理の方法を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 市民にとって分娩場所の選択肢の一つとして存在する助産院においても、助成を受けられるようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 本市が公開している新生児聴覚検査実施医療機関一覧に検査手法を記載すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) A A B R法による聴覚検査の補助額を増額すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) これから生まれるすべてのこどもが、耳の聞こえに関する障害を克服するチャンスを逃すことのないよう、さらなる検討をしていただきたい。

2 地域療育センターについて

- (1) 北部地域療育センターでのきょうだい児の預かりの回数を増やすこととあわせ、市として他の地域療育センターでも取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 電子カルテシステムの導入は全センターに速やかに進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 地域療育センターにより、さらなる療育の充実を期待する。

3 放課後キッズクラブ事業について

- (1) 昼食提供におけるアレルギー及び宗教食への対応について伺いたい。